

一年後、二年後を見据えて、今できることをはじめよう

卒業式は卒業生のための式となり、先輩を送り出す皆さんと送られる卒業生の互いの交流ができず、非常に残念でした。そのような状況でしたので、2年次生の皆さんにとって、一年後のことについて考えるひとときがなくなり、卒業についてはより一層先のことと思えるかもしれません。しかしあと一年後には、3年次の単位を履修・修得することにより卒業を迎えることになります。この一年はあつという間です。

3月も半月が過ぎ、生徒の皆さんは家庭でどう過ごしていますか。この情勢が改善し、皆さんが学校に早く登校できるようになることを願うばかりです。この間学校の進路指導部の先生方は皆さんの登校後に、3月にできなかった大切な進路行事をいつ、どのタイミングで実施するかを日程調整し、皆さんの進路実現をサポートしていけるよう全力で準備していますので、皆さんも頑張りましょう。



【 新3年次の皆さんへ 】 ※長いですが、大切な内容です。しっかり読み込んでください。

皆さんに、登校できない今こそ、一つ真剣に自分の人生についてよく考えて登校した後の心構えをしていてもらいたいことがあります。登校できるようになったら、進路をはじめとした活動について 1) 様々なことを同時に考え、2) 高校卒業後に向けて慣れないことに挑戦しながら、3) 時間に遅れずに必要なことの準備をしていかなければならない ということです。言い換えると、登校できるようになったら、①3月に出来なかったことをすること、②部活のこと、③進路についての動きをはじめること、④本来4月にすべきこと等々をすべて全力で、期限に間に合うように準備するということです。きっと忙しいですよ。ですから、この臨時休校の今、家でできることを真剣に考え、保護者の方と十分に進路について話し合い、そしてそれに見合う学力や、体力維持、生活習慣作りをしていくことが大切です。これから自分の進路について、保護者、担任の先生をはじめとする先生方、進路先の入試担当や採用担当の方と、さまざまな方が皆さんの進路決定に関わってきます。まず皆さん自身がどうしたいのかが一番大事です。学校では、皆さんを支援するために、4月に様々な説明会を予定しています。4月の説明会は以下の通りです。



4月20日（月）進路別ガイダンス（※2月に希望調査した分野についての話を聞きます）

4月21日（火）・22日（水）・27日（月曜日）・28日（火曜日）※クラスによって指定日一日

独立行政法人日本学生支援機構の「大学等奨学生予約採用の奨学金説明会」

4月23日（木）大学・短大総合型選抜説明会（昨年度までのいわゆるAO入試の説明会）

4月24日（金）専門学校総合型選抜説明会（昨年度までのいわゆるAO入試の説明会）

4月25日（土）進路保護者説明会（保護者対象です）※出欠席の返事を提出すること

時間がある今だからこそ自分なりに、調べたりできるアクションを起こしましょう。保護者の方と進路を一緒に考える上での大切なことを以下に挙げましたので参考にしてください。

- 1) 自分が高校を卒業したらどうしたいのかの意向を伝える
- 2) そのためにどんな手順で進めるかを自分で調べ、保護者の方に伝える

① どんな試験があるのか、併願校はどこかを考える：試験のレベル、その試験で合格・内定がとれるためにはどれ位できていなければならないのかということまで知る（この過去問解けるからOK、ではない）こと、道内大学は分野によっては、同じ分野でも難易度が大きく異なることがあるので、学びたいことが決まっているのなら、札幌市内にこだわらず本州も視野に入れて考えると、行きたい、自分の納得した進路につながることがあります。スポーツ推薦特待生以外の推薦については、一般入試を受験することになったときにどうするかを考え、しっかり準備しておくことが大事になります。

② 受験費用はいくらかかるか 合格後いくらかかるかを伝える

4月には上にあるとおり日本学生支援機構の奨学金の説明会や、保護者対象の説明会もあります。受

験料＋入学金＋前期授業料＋一人暮らし費用等々考えることはあります。国公立大学は家庭状況によって入学金・授業料減免もありますし、私立大学は特待生入試などもありますので、十分に調べておき、登校できるようになったら担任の先生ともしっかりと相談して早め早めに準備を開始しましょう。

- ③ その他必要なこと いろいろ、どんなことをするのかというスケジュールを自己管理しましょう。高校入試のように、クラスで一斉に願書記入、といったことを高校ではしません。入学願書（WEB申し込みも増えていますが…）も皆さん自身が用意するものと押さえておきましょう。

一つ上の卒業生とは違い、進学に関わる様々な制度や書類等々も変わります。先輩の情報だけを信じ切っていては足りません。新しいことに先生方も皆さんもしっかり立ち向かいながら、しかも学力を高めながら進路実現のために準備をしていくことが大切です。

【 すべての年次生全員に 】

卒業生の現在の進路状況概略 （3月16日現在）

国公立合格17名(含む過年度生)・私立大学合格157名(延べ数、含む過年度生) 短期大学27名・専門学校110名・公務員12名・民間就職6名

今年度については、事前の予想通り、『かなり厳しい』状況でした。次年度から入試制度が変わるため、全国的に『超現役指向』だったからです。本校生が例年多数合格する大学でも、不合格者が多数出ました。北海道教育大学岩見沢校の芸術系、看護系大学や養護教諭養成系大学、北海学園大学や北星学園大学、北海道科学大学などが例年になく厳しい状況でした。札幌学院大学や北翔大学といった大学でも後半日程での入試においては第一志望に合格できない学部がある状況でした。これらの原因の一つとして、例年〇〇大学に受験するのが少ない△△高校からも〇〇大学に出願し、受験生の平均点が上がってしまった、ということが言われています。

一方、厳しい話だけでもありません。上記の反動からか、大学によっては例年になく規模の多数の追加合格者を出す大学が出てきています。また、現在国公立中期入試・後期入試の結果がまだ発表されておきませんので、上の数字も変わってくるものと考えられます。本校での嬉しい情報として、芸術界で最高峰の国立大学東京藝術大学に浪人生が念願叶って合格、また現役生については本校からは浪人を何年も重ねないと合格できないような首都圏の大学に合格できた生徒もありました。最後に付け加えると、AO入試でも、AO出願不許可の生徒も例年より多く出ています。その原因として高校生活で学習面・生活面で指導されることが多く、日頃のだらしない行動を改められなかったことが考えられます。皆さんは高校生活残り1年、2年ありますから、今後の高校生活を改善すれば、可能性は見えてくるはずですので、臨時休校の生活も自律した生活であってほしいものです。



スタディーサポート GTEC の準備をしよう

2年次生は3月、1年次生は4月に予定していたスタディーサポート、そして3月下旬に予定していたGTECですが、まず4月15日（水曜日）にGTECのスピーキング以外の3技能を実施し、スピーキングについては4/10～16のコミュニケーション英語の時間に実施します。スタディーサポートは同じ週の2日後4月17日（金曜日）に実施します。これも新年度早々慌ただしい中での実施となってしまいますが、一つ一つを大切に、自分のよりよい成長につながるようにしてもらいたいと思います。結果の出る取り組み方の例を紹介すると、①事前問題集を解き、②自己採点をし、③もう一度見直して関連する部分を教科書でおさらいし、④そして春休み期間に何度も何度も問題を解き直すことによって自分のものになっていきます。

どの教科もすべて大切ですが、特に英語は、継続的に触れていないと伸びないし、直前に追い込みをしても成績UPには繋がらない科目です。1年次からの継続した努力が必要です。英語は、普段の授業を大切にして、予習・授業・復習のサイクルを大切にして取り組んでください。GTEC for students（アセスメント版）は、英語の4技能の力を知ることができ、かつ進研模試ともリンクしており、進学を希望する生徒のニーズに応えるものです。外部で受験するGTEC検定版と同じ様式ですので、検定の準備にもなります。

